

— 主な内容 —

- みんなで取り組む課題 ----- 2
- お知らせ（メーデー）----- 3
- 決起集会、ハローワーク前宣伝 -- 4
- 労使協議等 ----- 5
- ひろば、クロスパズル当選者 - 6、7
- コロナ禍、声を上げよう ----- 8
- 西から東から----- 9
- 社会保障情報 ----- 10
- 行楽（敬老乗車証を使って散策）--- 11
- 編集後記、まちがいさがし答 ----- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合（建交労）

京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

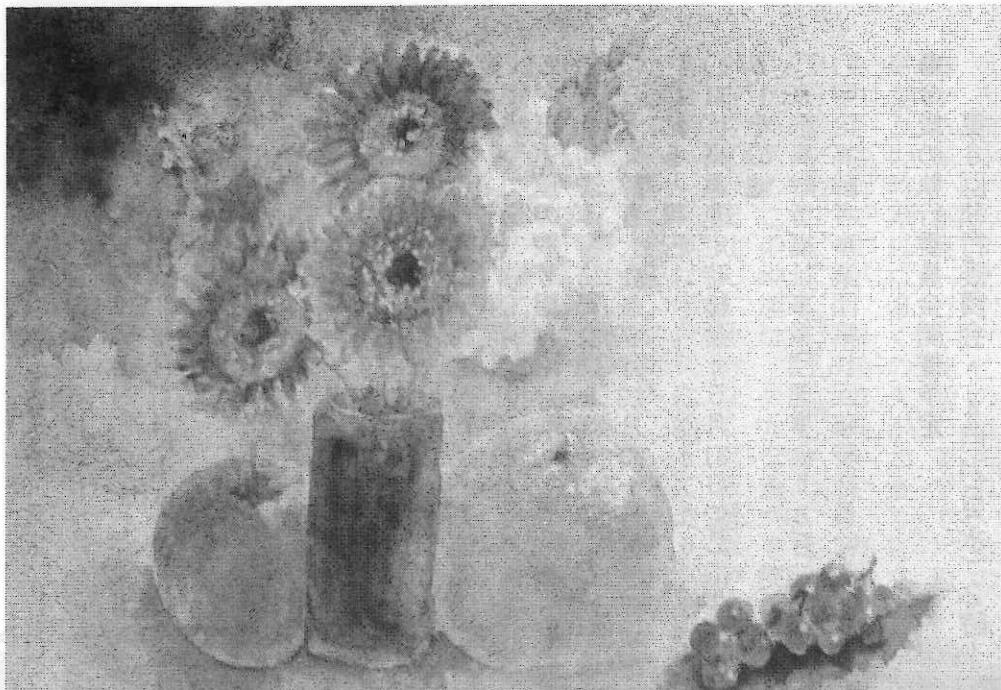
京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

TEL075-691-1007 Fax075-671-1641

Eメール=kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月2日 一部30円

NO. 301 (2021年) 4月号



花と果物

上林 常哲

みんなで取り組む課題

京都支部

第5回執行委員会が3月17日に開催されました。

1、京都支部の取り組み

- 宇治分会労使協議会＝2月19日
- 京都支部5回四役会議＝3月3日
- 京都支部6回四役会議＝3月31日
- 京都高齢者福祉事業団との労使協議＝3月17日
- 宇治分会労使協議＝3月26日(金)
- 京都高齢者福祉事業団との労使協議＝3月17日
- 組合機関誌「仲間」の300号を記念する取り組み
【300号は19人からのメッセージで飾れた。
リクロスパズルクイズは、回答・応募者を増やす】
- 全国事業団・高齢者の「50年のあゆみ」編集会議【オンライン】
2月18日、3月15日、4月13日。
- 全国事業団・高齢者部会「50年のあゆみ」＝一部負担で
全員に配布(300円)【検討する】
- 府本部決起集会＝3月6日(5人参加)
- 全国事業団・高齢者部会代表者会議【オンライン】
- 失業者対策(ハローワーク前でのアンケート活動)
七条・伏見・宇治各ハローワーク前＝3月17日(水)

3、委員会・会議など

- 南地区労幹会＝2月25日(山内)
- 南区総行動実行委員会＝2月26日(山内)
- 京都統一メーデー＝二条城前にて規模を縮小して行うの
とオンライン集会になる予定です。
- 参加希望者は、組合事務所へご連絡下さい。
- 山城メーデー＝例年通り行われます。
- 京都高運連事務局会議＝3月18日(木)午後2時
- 日本高齢者大会＝9月23日の一日だけでオンラインで行
われると報告。
- 京都高運連定期総会＝5月31日(月)午後1時30分

5、高運連の取り組み

- 今後の執行委員会開催予定
 - 第6回執行委員会・4月21日(水)2時
 - 第7回執行委員会・5月19日(水)2時

敬老乗車証制度の改悪中止求める署名さらに強めよう!

「敬老乗車証制度の改悪中止求め
る署名」の取り組みをすすめてい
ますが、返信封筒（切手不要）で
167筆の署名が送られてきてい
ます。その際の「一言欄」に多く
の意見が寄せられていますので、
紹介します。

- ◆ 75歳以上や自己負担金の引き上げを撤回すること。
- ◆ 財政が苦しくなると、すぐに値上げに走る悪い癖！
- ◆ 民間企業のようにとことん自助努力はおこなつたのか、今はどこも苦しくて耐えています。無駄遣いは本当にないのかもつともっと考
えるべきです。
- ◆ 敬老乗車証の引き上げとんでもない。年寄りから金をとるな！
- ◆ 敬老乗車証を使用できるた
めに外に出かけ、人にも会
えて喜んでおり敬老乗車証
制度の改悪中止を求めます。
- ◆ 京都市の財政運用の失敗を
絶対許されません。
- ◆ 私ども、高齢者はこの制度

- ◆ 敬老乗車証制度を今まで、続
くことを要望します。
- ◆ 現状の継続、または自己負担金をもう少し引き下げ、高齢になつても外出しやすい機会の確保を望みます。
- ◆ 敬老乗車証でバスに乗つて買い物に。認知症予防になるし、寝たきりになるのを防ぐことにつながる。から足を奪わないでほしい。
- ◆ 名称を「外出サポート」「シニアカ
ード」など見直してほしい。
- ◆ 対象年齢70歳以上を要求します。
75歳以上の自己負担金の引き上げはやめてほしいし、できれば無料化に戻れないでしようか。
- ◆ 70歳以上への負担を減らすこと
が可能。

2021年メーデー(5月1日・土曜日)

今年のメーデーは、新型コロナウイルス感染予防のため、規模を縮小して行われます。集会とデモ行進に、参加希望の組合員の方は、事前に組合書記局にご連絡ください。

建交労京都府本部女性部春の宣伝行動への参加を

- ◆ 日時：5月14日(金)昼12時～【一時間程度】
- ◆ 場所：四条烏丸(きらっ都プラザ・京都産業会館前集合)
- ◆ 時間の許す範囲で、多くの組合員のご協力をお願いします。

建交労京都府本部 2021年春闘決起集会

建交労京都府本部は、3月13日に高齢者会館において「2021年春闘決起集会」を開催しました。

集会は、足立副委員長の開会挨拶

に続き、重村委員長から21年春闘方針とたたかいについて報告され、報

告をうけて、各支部、部会から春闘のとりくみ報告と決意の表明。京都

支部、建設部会、環境支部、地域支部、関西合同支部、女性部、トラック部会の7名の方から発言がありました。それぞれコロナ禍で少なくない影響を受ける中で、感染防止に注意を払いながら仕事を続いていること。コロナは自分たちの責任ではない、企業や国は、組合の要求に応えてほしい。生活を支えるために21春闘を頑張ると発言されました。

最後に、早田書記長がまとめを行われ、21春闘での要求提出と交渉、元気な宣



伝行動、最賃引きあげのたたかい、コロナ感染防止の取り組み、迫つてきたり休める環境づくりなどで頑張ろうと訴えられ、最後に「団結ガンバロー」を三唱して終了しました。集会後の宣伝行動は中止、参加者がチラシ＆ティッシュをまわりに配ろうと持ち帰りました。



ハローワークへ訪れる労働者は、予想を大きく上回り、受け取りもよく、職員やガードマンも好意的に、快晴の中で気持ちよく配布活動の取り組みが出来ました。

訪れた人とも対話が出来、自営業の高齢者が「このコロナ禍の中で、店がたちいかなくなり店じまいして来たが正規の仕事がない」とか「高齢者には非正規化パートしかないなどの話がされていました。

アンケート結果は、返信用封筒での回収となりこれからだが、集計結果に基づいて、京都支部は建交労府本部と共に、3月17日七

条・伏見・宇治の3カ所のハローワークで宣伝と「求職者・失業者要求アンケート」の配布を行いました。当日、ハローワークが開ける9時

から3カ所のハローワーク前で、ティッシュ付ビラとアンケート用紙、返信用の封筒を配布しました。



来所者と対話する組合員

日統一行動の一環として伏見ハローワーク前で同様の行動を行いました。



京都高齢者福祉事業団 宇治高齢者事業団

それぞれで労使協議行う

■京都高齢者福祉事業団 との労使協議

3月17日、京都支部と京

都高齢者福祉事業団との労使協議を行いました。

当日は、京都高齢者福祉事業団から選出されている執行委員と事業団の理事が出席して行われました。

最初に松永書記長から前

回から一年近く開かれていたなかつたため、この間の職場、現場や執行委員会などで出されていた要望や意見をまとめて①賃金、各種手当のアップ。②作業服など型コロナウイルス感染防止対策。を紹介しました。

事業団からも、入札の現状結果や事業活動の現状、特に人材不足の改善が急を要していることが強調されました。その後、意見交換を行い、労働条件の改善や作業現場の改善点などは引き続き取り組んで

いき、労使協議を出来るだけ定期的に行なうことが確認されました。

■宇治高齢者事業団との労使協議

3月26日、京都支部宇治分会と宇治高齢者事業団との第10回労使協議を行いました。

当日は、労使協議会メンバーが全員出席して行われ、収支状況、「市民サービス向上・業務完全実行委員会」

宇治高齢者事業団 臨時社員総会開かる

3月27日、宇治高齢者事業団の第16回臨時社員総会が開かれました。

今回の議案は、2021年度事業計画案と予算案の提案と確認でした。

「はじめに」で指定管理業務が公募制にする方向が強まっているだけに、「高齢者が生きていくうえで働くないと生活できない」という現実の下、高齢者に働く場所を提供し続けて来た事業団の果たす役割はますます重要」「高齢者が元気で働く貴重な団体である糖事業団の安定的な経

営の基盤の確立」が重要であることが強調され、「仕事はやっぱり事業団」と云われる状況を作り出すことが重要なと云なつて、いると強調されました。討議では、コロナ禍の中で頑張つてきたこと。宇治市がシルバー人材センター、宇治高齢者事業団が高齢者団体と位置付けた「随契」が危惧されることが強まってきた。事業団を継続するための人材育成を急がねばならないこと。などが提出されました。予算案については2020年度の決算の未確定の要素もあり、6月に見直すことも含めて確認されました。



クロスワードパズル解答 「ソウシュン」でした。

機関誌「仲間」発行300号を記念しての組合員参加の「クロスワードパズル」は40名の応募があり、38名の方が正解でした。抽選の結果、以下の方たちが当選されました。

クオカード(1000円)の当選者

稻田政美、大上修三、岡本 朗、嘉村茂、加老戸政義、木村 徹、木ノ下貴之、清原春子、坂田 浩、齋藤貴美子、澤井久美子、杉浦藤夫、杉本千賀子、鈴木美雪、田中美三郎、原田康正、富士田修、松永雅明、焼山虎治、山田憲治。



4月のまちがいさがし

まちがいが8カ所。
さて、どこに? 答えは12ページ

誤 || 1996年4月
正 || 1996年5月

訂正



3月号4頁の記事の見出しに入力ミスがありました。訂正してお詫びします。

クロスワードパズル 応募者の一言

- ◆ 300号おめでとう。でどうござります。今後の発展をお祈りいたします。
- ◆ 「仲間」300号おめでとうございます。パズル頭をひねつて頑張りました。頭の運動になつてよかったです。
- ◆ 300号まで来ましたね。200号の時は、何もなかつたけれど、今回はパズルでみんなで祝えてよかったです。
- ◆ 家族とワイワイ楽しくて頑張りました。
- ◆ 「仲間」300回記念おめでとうございます。毎月隅々まで読めませんが、「ひろば」とか「行楽」などはよく読みます。これからも頑張って下さい。
- ◆ 「仲間」300号おめでとうございます。毎月楽しみます。私たちに与えて頂きこれからもよろしくお願ひします。
- ◆ 「仲間」つまり組合員の人数減が高齢者の宿命とはいえ、淋しく不安になります。
- ◆ 300号おめでとうございます。毎月隅々までどうござります。これまでに勇気と元気をも頑張つて下さい。
- ◆ クロスワードは解けても解答は苦労しました。でも面白かったです。楽しませて頂きました。
- ◆ 頭の体操のため、クロスワードパズル頑張つてみました。
- ◆ クオカードより図書カードの方が良かつたと

懐かしい仲間たちを想い前号の「300号アレコレ」を読んで、懐かしい人たちのことを思い出しました。「仲間」は私が事業団に来た月に刊行されたのですね。当時は全員でその後、大合同があり、建交労が誕生、女性部の結成総会に京都から3名が出席。建交労は、

300号おめでとう。でどうござります。自労でその後、大合同があり、建交労が誕生、女性部の結成総会に京都から3名が出席。建交労は、

ひるねば

京都高齢者福祉事業団

樋口 廣美

「川柳」

京都高齢者福祉事業団・OB 池田 東一

種の集まりであるのに驚きました。私も数年「仲間」の編集委員会に参加し、記事集めに苦労したことなど、今は良き思い出です。府・市に対する要請行動は多くの組合員が参加し、寒い中、市役所前で座り込みをした記者や写真のこと思い出しながら、あの頃の行動を各現場から多くの組合員が参加し、行動したものがだと過去を懐かしく思います。



工口爺も 八十二才の 誕生日
遺影見て 親父に似たと 言う女房
老眼の 上目使いで 見るテレビ
色褪せた 手帳の中は 農作業
遙かなる 夢追いかけた 若き日よ
加減して 愛を投げたな 雪の玉
夢を見た 昔の彼女 あの 笑窪
故郷を 泣で後に した昭和
面会も 禁止にされて 孤独の死
人には 心を乱す コロナ疫
流星 増やすコロナが 又変異
一年も 自肅で弱る 我れの足
洗濯機 高齢なのに 踊り出す
ヨチヨチのクツが待つて いる 雪解けを
さよならの一言さえも 許されず
天国も コロナの死者で 増える星
世の別れ 独りぼっちで 去る惨さ
さよならの 一言さえも 許されず
流星 増やすコロナが 又変異
一年も 自肅で弱る 我れの足
洗濯機 高齢なのに 踊り出す
ヨチヨチのクツが待つて いる 雪解けを

★ 原稿募集 ★

趣味、暮らし、仕事、意見などを寄せください。

新型コロナで顕在化する 労働者の貧困

声をあげて対抗しよう

法律家や労働組合、市民らでつくる「民主法律協会」が「2021権利討論集会」を大阪市内で開催した。

記念講演は、首都圏で生活困窮者支援をしている藤田孝典さん（NPO法人ほつとプラス理事）の「新型コロナが顕在化させた労働者の貧困と対抗する運動の必要性」

コロナ禍に、労働組合、NPO、学者、ジャーナリストらが集まり「生存のためのコロナ対策ネットワーク」が急きよ結成された。藤田孝典氏は共同代表として参加し、相談支援活動を行っている。相談の多くが労働問題に起因した貧困問題。

貧困化を顕著に示すものとして、貯蓄ゼロ世帯（2人以上世帯）の増加を挙げた。95年に7・9%だったのが、今や3割を超えている。以前から非正規で不安定な働き方

のワーキングプアが増加していたが、コロナ禍で雇用が悪化し生存の危機に陥るケースが増えている、と藤田氏は指摘。

リーマンショックの際、相談が多くたのは男性の非正規労働者だったが、コロナ禍では女性の非正規労働者が多いという。女性の非正規労働者は低賃金で、差別もあり、強いストレスを抱えている。コロナ禍で雇用危機が広がるなか、女性の自殺者が急増している。

矛盾に気づく

大企業の内部留保は増えづけ、政府・日銀の株価買い支えで大企業や富裕層は、競争しなくても資産を増やし続ける。一方、労働者は厳しい競争にさらされると藤田氏は指摘。非正規労働、働く貧困層の増加も政策、政治が生みだしたもの。労働者や国民が新自由主義など社会の矛盾に気づき、声をあげる動きが広まっている、と強調。国民が声をあげなければ、特別定額給付金などの制度はなかった。自民党政権は、大企業や富裕層の側に立っているの

だから。

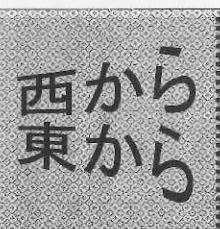
SNSで広がる

抗議の声をあげる際に効果的なのがツイッター、フェイスブックなどSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用。今やSNSを活用しない運動は広がらない、と藤田氏は強調する。

SNS活用の成功例として、ネットファンション通販「ゾゾタウン」のケースを紹介。前社長が1千億円かけて月に行こうとしていたが、非正規社員らは「月に行くなら労働者の賃上げを」とSNS上で要求し、19年に時給1300円への賃上げを勝ち取った。

ネットでの要求は団交と同じ効果を発揮。儲かっている企業として企業イメージを考えると賃上げせざるを得なくなつた、と藤田氏は解説。ネット上の発信は世論に訴えることになり、企業も無視できないのだという。「#竹中平蔵をつまみ出せ」のツイッターデモも20年11月、話題となり、トレンド入りしたという。

(9) 労働組合の社会的使命と役割果たす中で政治革新の前進を！



■ 南地区労幹事会の報告

2月25日に、南

地区労働組合協議会の幹事会が開かれました。

この間、地区労の活動はコロナ禍の影響も受けて出来ていませんでした。当日は、事務所の移転問題が議題に上がりました。事務所は、年金者組合南支部の事務所と共同で使用していましたが、年金者組合が事務所を移転することとなりました。新事務所の場所は後日報告します。

(地区労担当 山内 登)

■バイバイ原発京都集会
東京電力福島原発が爆発事故を起こして10年の3月6日に、「バイバイ原発3・6きょうと」が円山音楽堂で800人が参加して行われました。

集会では、主催者挨拶の後、福島原発告訴団団長の武藤類子さんが講演を行い、政府が行っているのは、事

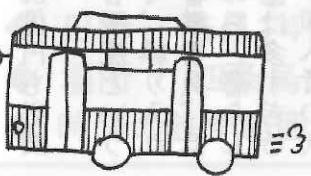
故の幕引き、被害者の切り捨て、そして放射線防護を緩め原子力産業に再び利権を与える、その復活を許すことではないかと、政府と東電を批判して、福島五輪といううそを塗り重ねているが、「福島はオリンピックごでねえと呼びたい」と強く訴えられました。この集会には野党の議員や代表者が参加され、メッセージも紹介され、集会決議が採択されました。

集会後、京都市役所までのデモ行進で「バイバイ原発」のプラカードを掲げ、脱原発を訴えました。



会議は、この間の活動として京都府・京都市との交渉、第20回京都高齢者大会報告集の作成、京都府図書館の跡地活用を地元住民団体と共に京都市へ要請していること、などが報告されました。

当面の活動として、①第21回京都高齢者大会は京都の実行委員会を開し、昨年並みの規模で開けるよう要望すること。②昨年コロナ禍の中で延期された日本高齢者大会については長野で9月23日に開催されると連絡があり、これも京都の実行委員会ですすめることを提案すること。
③京都市が財政危機を口実に、市民サービスの「敬老乗車証制度」など諸施策を切り捨てようとしていることに対する取り組みを強めること。
④高齢期運動の中で作られた「高齢者憲章」の学習を総会の折に行うこと。⑤21年度の定期総会を5月31日に行うこと。⑥ニュースを発効すること。などを確認されました。



■ 京都高齢期運動連絡会事務局会議

3月18日、京都高齢期運動連絡会の事務局会議が開かれました。

社会保障情報

京都市が「持続可能な行財政審議会」なるものを設置して、市民に負担を押し付けようとしています。京都社会保障推進協議会の文書を紹介します。

京都市は、「持続可能な行財政審議会」を設置し、審議会を開催しています。

審議会では、京都市の危機的な財政状況を強調し、あらゆる市民サービスについて、いかに京都市の支出を減らせるかという視点のみの議論をすすめています。

制度改悪で市民生活に大打撃

審議会では、財政が厳しくなった状況の十分な分析や総括も行わず議論され、一つ一つの施策の成り立ちと、経過や利用している市民の声を反映させず、短期間で結論を出すやり方を取り、「リストラを前提としたものではないか」との声も出ています。

議論されているのは、敬老乗車証

制度・国民健康保険・小学生の「虫歯」治療無料制度、さらには水道料金、保育料など「国基準以上」「他都市なみ以上」の事業を全般的に見直すというもので、市民生活に大打撃となるものばかりです。

財政が厳しい根本原因の一つが、国の長年にわたる地方交付税の削減にあるにも関わらず、審議会の議論では言及せず、人件費や公債費などの負担が大きいことを強調。市民に、市民サービス削減と負担増を求め、更なる職員削減を目的とした業務の集約化、委託化をすすめようとしています。

委員さん、市民の生活をご存じ?

審議会の委員は、選挙で選ばれた代表でも、専門的知識の持ち主でもありませんが、国保問題の議論では、次のような意見が出されました。

「介護保険・後期高齢者と比較して、国保は、国以上の繰り入れをしている」「国保の都道府県化を早めに行い、補助金を国からもらえ」「なんで、他の都市より繰り入れ額が多いのか?」

「国保の繰り入れは、80億円も必要か?」……

介護保険や後期高齢者医療という全く別の制度と比較して、繰り入れのあるなしを主張する審議委員、低所得者ははじめ市民のいのちと暮らしを守る制度なのに、80億は多すぎるという審議委員。国保加入者の状況、京都市が責任をもつ医療保険制度であること、セーフティネットである役割もすべて無視した意見が出されています。国保加入者の生活実態、これまで国保制度を守ってきた京都市の役割を無視した、人権無視の審議会の議論は絶対に許せません。「持続可能な行財政審議会」は、直ちに中止すべきです。

市民に負担を押し付ける「行財政改革」をストップさせ、市民のいのちと暮らしを守る京都市政を求める声を上げることが大事です。



行楽

|| 敬老乗車証を使っての散策 ||

南禅寺水路閣と伏見の酒

京都支部 中村 崇

今回は、桜満開なので花見と考えましたが、コロナウイルスの感染予防のため諦めました。変わりに今、関心事となつて『敬老乗車証』を使って散策してきました。

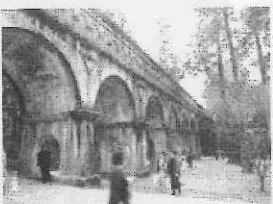
自宅から市バスで竹田駅へ。市営地下鉄烏丸線で烏丸御池駅まで行き、市営地下鉄東西線に乗り換えて蹴上駅へ。京への東の入口、蹴上は、南禅寺があり、桜満開で多くの花見客がおられました。南禅寺はまた別の日として、今

回は琵琶湖疎水でこの場所には京都の浄水場があり、京都疎水記念館もあり、詳しく説明され展示されています。

テレビのドラマでよく使われる「水路閣」をめざします。今もこの上を疎水の水が流れおり、この水路閣を下から見た光景で、ローマ時代の回廊のようにも見え、人気の撮影スポットとなっています。なお京都の川はみな北から南に向かつて流れていますが、水路閣の水は構造上逆の南から北に向かつて流れています。

再び、蹴上駅に戻り、市営地下鉄東西線で六地蔵駅へ。途中に「醍醐寺」があり、ここ桜も有名ですが、通り過ぎし、終点六地蔵駅で下車。

今も生きている水路閣



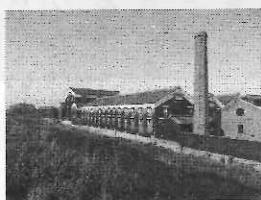
この近くに、六地蔵巡りで知られる大善寺があります。この場所は、昔から京・奈良へ行く交通の要所で六地蔵巡りの時期には多くの人がお参りに来られる場所ですが、普段は静かで、府道7号線が走り、車の騒音で賑やかでした。

伏見区のこの地域は、公共交通が不便たところで市バスが走つていません。仕方なく京阪電車宇治線に乗車して中書島駅へ。電車は宇治川に沿うて走り、途中観月橋あたりで近鉄電車と交差しますが、この近鉄電車が宇治川を渡る鉄橋は戦前に掛けられ曰く付きの鉄橋だと聞いています。

中書島駅で下車して少し歩くと、豊臣秀吉と曰くがある「長建寺」その横に宇治川派流の弁天橋脇に「十石舟」乗船場があり、満開の桜を愛でながら伏見の酒蔵などを眺めるのもよいものです。私は「花より酒」のたちですから「十石舟」乗船場の脇にある「月桂冠大倉記念館」へ足が向いてしまいました。酒造りのコースを回り、酒の良い香りだけではたまらず、近くのレストランで昼食かねて少しばかりたしなみ、よく知られている「坂本龍馬碑」や「寺田屋」などを散策して、市バス京橋駅から竹田駅で乗り換えて。自宅へ戻りました。

交通費は210円のみでした。(本来なら1,480円必要)

ドラマで出て
くる酒蔵

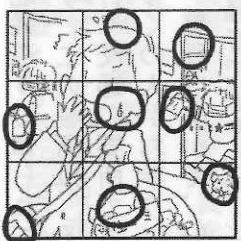


大善寺本堂



編 後 集 記

◆「朝顔」というテレビドラマを見ていたら、ドラマの本筋よりも主役の父親のドラマの方に引き付けられた。◆父親（时任三郎）は、手腕を振るつたベテラン元刑事であったが、10年前の東日本大地震による津波で妻を亡くした。仕事の合間を見て妻が被害に遭つたであろう浜辺に探しに行つていたが、時がたつにつれて、物忘れが多くなり、記憶が薄れていき、忘れてはならないとメモ書きを家具などに貼り出していく。◆監察医を仕事としている娘（朝顔）は父の変化に気が付き一緒に暮らし、挙げていなかつた自分たちの結婚式を父に見せ、内輪のパーテーで父は長い目のスピーチを行う。忘れることを恐れず、娘夫婦に頼り、周囲に支えられる中で認知症状を受け入れていきたいと。◆以前にも書いたが、映



まちがいさがし解答

画「北の桜守」の一場面。戦前から権太で桜の木を植え育てていた母（吉永小百合）が千五センチからの夫の帰りを待つが、やむを得ず網走へ家族と共に引き揚げ、息子を育てる。◆成人した息子たちと一緒に住むが、認知症の症状が出てきて、母は「一杯あつた扉がバタンバタンと消えていくの」と云い、迷惑かけられないからと家を出る。探し当たった母は、北の大地で「桜守」をして夫の帰りを待つていた。◆高齢者から超高齢者と呼ばれる人口割合が増え続ける現在、認知症を患う人も増えている。「閉じていく扉」を家族や地域の人たちと共に見守つていくだけでよいのだろうか。◆認知症だけでなく、介護を必要とする人も増えていく必要がありますが、今の菅政権では頼れないのである。（中）